

令和2年度

学校だより

京都市立醍醐中学校

第8号



学校教育目標「伝統と文化を受け継ぎ、地域に貢献できる

人材の基礎となる資質や能力を育成する」

令和2年11月2日文責 林

修学旅行を終えて

10月19日（月）から21日（水）の3日間の行程で信州方面への修学旅行を実施しました。5月に東京方面で実施する予定でしたが、コロナ感染症の感染拡大で休校措置が取られ延期していました。授業が再開されても感染拡大が続き、修学旅行を実施するか悩みが尽きませんでした。しかし、3年生の生徒のことを考えると多くの学校行事が中止や変更を余儀なくされ、部活動の大会やコンクールが中止になる中で修学旅行だけは実施したいと考えました。教職員の意見もぜひ実施したいとまとめました。生徒も修学旅行委員がリーダーシップを取って準備を進めてくれました。ただ、実施に向けては多くのハードルがありました。まず、感染対策の徹底です。3年の学年主任が中心になって旅行社などの関係者とバス内の消毒や旅館での対策、体験場所での動きなど綿密に打ち合わせを行い、スムーズに実施できるよう力を尽くしてくれました。また、生徒には規則正しい生活を送って体調を整え、修学旅行を迎えてほしいと伝えました。

そして迎えた修学旅行当日。大きな荷物を持って、笑顔で集合してくる生徒の表情からは、修学旅行を楽しみにしていることがうかがえました。3密を避けるために1クラスが1台のバスに乗って出発しました。バスの車内では、生徒は大きな声でしゃべらず音楽やビデオを楽しんでいました。これまでの修学旅行とは違った光景でした。宿舎でも食事の時に向かい合せにならないように座席の間隔を広げたり、1部屋に入る生徒の人数を減らすなどコロナ感染対策をしていただきました。退館式で、宿舎のオーナーさんが「コロナ禍で今まで当たり前と思っていたことが実は当たり前ではないことがわかりました。修学旅行を中止にする学校もある中で、皆さんは修学旅行に来ることができました。修学旅行での思い出を胸にこれからの学校生活を送ってください」と話されたことが印象に残ります。

1日目は、黒部ダムを見学し、自然と人間の叡智が融合した雄大な風景を堪能しました。山々を見るとすでに紅葉が始まっていました。2日目は、アスレチックやラフティングなど信州の大自然に親しむ活動を行いました。信州の秋を満喫した1日でした。3日目は帰途にナガシマスパーランドを訪れ、生徒は歓声をあげていました。3日間を通して、うれしかったのは生徒の笑顔がはじけていたことです。また、生徒の礼儀正しさにも感心しました。何より生徒一人一人が、出発前から体調管理を行い、旅行中はひとりも体調を崩す生徒がいなかったことに生徒の力を改めて感じました。

解団式であいさつしていると生徒たちから修学旅行は楽しかった、満足できたという声が聞こえてきました。生徒の笑顔をみたり、生徒の声を聞くとハードルが多かったけれど修学旅行を実施してよかったと改めて実感しています。お世話になった関係者の皆様に感謝申し上げます。生徒には、修学旅行での経験を活かしてさらに学校生活を充実させ、学年の団結を深めてほしいと願っています。



学校祭

10月6日（火）と7日（水）の2日間で実施しました。今年は、コロナ禍で今までとは違った形での実施になりましたが、生徒の皆さんはいろいろな場面で力を発揮して充実した学校祭になりました。特に生徒会本部の皆さんの活躍が光りました。

文化の部

10月6日（火）の午前中に行いました。体育館で校長と文芸委員長のあいさつから始まり、生徒会本部によるオープニング、吹奏楽部の演奏と続けました。生徒会本部のオープニングは、ダンスを披露してくれました。楽しく踊る姿と笑顔が印象的でした。吹奏楽部の演奏は、熱の入った演奏でした。吹奏楽部もコロナ感染症の影響で吹奏楽コンクールが中止になったり、地域行事の中止で演奏を披露する機会を失ったりと活動が制限されました。しかし、部員の皆さんは気持ちを切らさず、感染対策をしっかりと練習を続けてくれました。その部員の皆さんの気持ちが一つになった素晴らしい演奏でした。体育館の様子は、オンラインで配信され、全校生徒は教室で鑑賞しました。その後、事前に撮影した1年生の学年劇「リメンバー・シー」、3年生の学年劇「マイ・ライフ」の映像を配信して教室で鑑賞しました。どちらの学年劇も深く考えさせられる内容でした。2年生は、チャレンジ体験が中止になり、その代替に各事業所さんへインタビューに出かけました。その様子を映像にして、オンラインで配信してくれました。続いて、展示鑑賞でした。教科やクラブの力作の鑑賞を楽しみました。

合唱の部

10月6日（火）の午後に実施しました。各学年ごとに体育館に入場し行いました。他学年は、教室で鑑賞しました。練習時間がなかなか取れない中で朝練習など工夫して練習を続けてくれました。日が進むにつれ朝練習で教室から聞こえてくるハーモニーがきれいになり、本番を楽しみしていました。本番では、どの学年も体育館に美しいハーモニーを響かせてくれました。特に3年生は少人数でしたが魅了させる合唱でした。醍醐中学校の伝統を引き継いでくれました。

体育の部

10月7日（水）の午前中に実施しました。種目を絞っての実施になりましたが、開会式のあいさつで、私は「最後まで全力で競技する」「競技以外ではマスクを着用する」「水分補給をして熱中症対策を行う」という3つのお願いをしましたが、生徒の皆さんは3つのことをしっかり実行してくれました。どの競技でも最後まで全力で競技して見ていて気持ちがよかったです。体育の部は保護者の皆様にも参観していただきました。

醍醐寺鑑賞授業

10月13日（火）に2年生の醍醐寺鑑賞授業を醍醐寺霊宝館で行いました。この授業は、京都市教育委員会「京都芸術教育研究事業」の一環です。

醍醐寺様の全面協力のもと、「醍醐寺所蔵 五大明王像」を間近で見て鑑賞授業を行いました。普段は、すぐそばまでは近づくことはできませんが、授業ではすぐそばまで近づきじっくりと鑑賞させていただきました。写真や映像では感じられない「本物」を間近で見ることで息吹を感じ取ってくれたようです。

その後、気づいたことや疑問点を出し合い、それについて僧侶の方や学芸員の方に解説をしていただきました。この授業を通じて、地域に誇りを持ち地域の活動に積極的に参加してくれることを願っています。醍醐寺の僧侶の方々、学芸員の方々ご協力ありがとうございます。

